

# 第2弾

5歳から11歳のお子様と  
保護者の方へ



## 新型コロナウイルスワクチン接種 についてのお知らせ



新型コロナウイルスワクチンのオミクロン株への効果や  
国内外の新たな情報についてお知らせします。



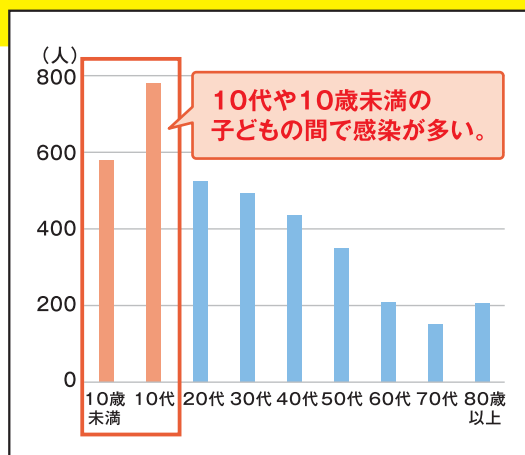
第1弾の情報についてはこちらをご参照ください→

国内の新型コロナウイルス感染者のうち  
子どもの感染者数は多い状況が続いています。

■ 人口10万あたりの新規陽性者数(※)  
(※) 10/30~11/5の7日間累積

### ◎使用するワクチン

ファイザー社の5~11歳用のワクチンを使用します。子ども用のワクチンです(※)。  
初回接種として、**3週間の間隔**をあけて、**2回接種**します。その後、**5か月以上間隔**をあけて**追加接種(3回目)**を受けられます。  
(※)ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



出典:新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード

### ◎接種の対象

- 5歳から11歳の方
- 特に、慢性呼吸器疾患、先天性心疾患など、重症化リスクの高い基礎疾患(※)を有するお子様は接種をおすすめしています。接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などによく相談してください。

(※)日本小児科学会では、新型コロナの重症化リスクが高い疾患の一覧等を公表しています。

日本小児科学会「新型コロナウイルス関連情報」→



## 新型コロナワクチンの効果

### Q1. 新型コロナワクチンは、どんな効果がありますか？

また、今流行しているオミクロン株にも効果がありますか？

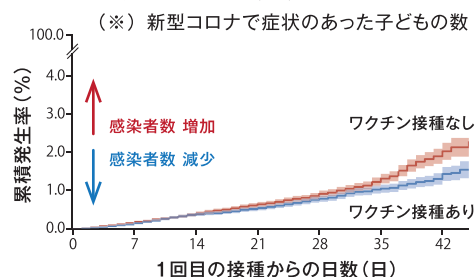
- A. 新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。また、今流行しているオミクロン株にも有効であることが報告されています。

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナと戦う仕組み(免疫)ができます。ウイルスが体に入ってきた時に、すぐ戦える準備ができますので、新型コロナの症状が出にくくなります。

オミクロン株流行下での効果として、初回接種(1・2回接種)を完了すると**中等度の発症予防効果**や**80%程度の入院予防効果**があることなどが海外で報告されています。

出典：第36回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会より

### ■ 5～11歳の小児におけるワクチン接種の有無による累積の発症者数(※)の推移



出典：Cohen-Stavi CJ, Magen O, Barda N, et al. BNT162b2 Vaccine Effectiveness against Omicron in Children 5 to 11 Years of Age. N Engl J Med. 2022;387(3):227-236.

### Q2. 新型コロナにかかったことがある子どもも、ワクチンを打った方がよいのでしょうか？

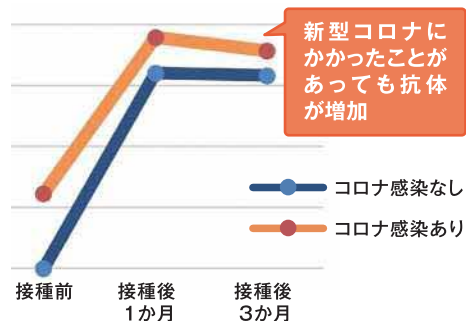
- A. 新型コロナにかかったことがあっても、ワクチン接種により抗体が作られることで、再び新型コロナに感染しても症状が出にくくなる効果が期待できます。

日本国内で行われた研究によると、5～11歳の子どもに対してワクチンを接種した後の抗体の量を比較すると、感染したことがあるかどうかに関わらず、血液中の抗体の量が増加することが分かりました。

この結果から、感染により得られた抗体は時間が経つと低下しますが、ワクチン接種により再び抗体が増加することで、**新型コロナに感染しても症状が出にくくなる効果**が期待できると考えられます。

出典：第88回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会より

### ■ ワクチン接種による抗体の変化(イメージ)



(※) 縦軸は対数目盛

(※) ワクチンを接種後3か月の時点で、コロナへの感染の有無により、抗体の値の変化を評価したもの。国内の56人の子ども(5～11歳)を対象

## 新型コロナワクチンの安全性

### Q3. ワクチン接種後の心筋炎など、日本や海外において、ワクチンの安全性に関する最近の状況はどのようなになっているのでしょうか？

- A. 国内外の報告によると、5歳から11歳男子における心筋炎が報告される割合は比較的低いとされています。日本におけるワクチン接種の安全性情報について、国の審議会でも継続して確認を続けており、現時点では大きな懸念はないとされています。

子どもでも、ワクチン接種後まれに軽症の心筋炎を発症した例が国内外で報告されていますが、**5～11歳における発症の割合は比較的低い**とされています。日本の審議会では、子どもに対するワクチン接種の開始以降の報告において、心筋炎の報告数は低い(2022年10月9日までの集計で、100万回接種あたり0.6件(1回目接種))状況が続いており、重大な懸念はないとされています。

ワクチン接種後4日程度の間にお子様に**胸の痛み、動悸、息切れ、むくみ**などの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。なお、心筋炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。

出典：第88回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会より

基本的な情報や相談窓口等  
についてはこちら(第1弾)→



3回目接種も受けられます。  
詳しくはこちら→

